

## 事業実績評価(令和3年度分)

＜掲載事業について＞

ページ	事業名	区分
1	汚水処理施設の整備	総合計画 2-3-(6)
2	安全・安心な学校づくりの推進	総合計画 4-2-(1)
3	健（検）診体制の充実と医療費適正化の推進	総合計画 3-7-(2)
4	瑞穂市まち・ひと・しごと創生推進計画 ～企業版ふるさと納税～	地域再生計画
5	一圏域応援ステーションー 穂積駅圏域拠点化構想推進事業	総合戦略
6	特色ある「瑞穂農業」の促進	総合計画 5-1-(1)
7	行政評価の充実と推進	総合計画 共-1-(2)
8	適正な受益者負担と公有財産の管理	総合計画 共-2-(2)
9	組織体制の強化と人材育成	総合計画 共-1-(3)
10	消防団員の確保	総合計画 1-1-(3)

高い	目標達成に非常に効果的であった
↑	目標達成に相当程度効果があった
中	目標達成に効果があった
↓	目標達成に効果がなかった
低い	目標指標無し
-	その他

瑞穂市

## 基本目標2 便利で快適に暮らせる美しいまち

### ③上水道・下水道

#### (6) 汚水処理施設の整備

所管 下水道課・環境課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	-								
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共下水道区域を拡大します。また、下水道未供用区域については、浄化槽の設置を促進します。</li> </ul>										
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共下水道事業【重】</li> <li>○浄化槽設置整備事業</li> </ul>										
年度別実施計画	R3年度（実績）	事業費(千円)	R4年度（計画）	事業費(千円)	R5年度（計画）	事業費(千円)					
	●浄化槽設置整備補助	62,962	●浄化槽設置整備補助	91,425	●浄化槽設置整備補助	91,425					
	●下水処理場用地購入	323,025	●管路詳細設計	73,114	●管路詳細設計	【調】					
	●官民連携導入支援業務	23,784	●処理場詳細設計	84,712	●管路施設工事	【調】					
			●下水処理場用地購入	17,367	●処理場詳細設計	【調】					
		●処理場施設工事	95,250	●処理場施設工事	【調】						
目標指標			単位	R2(基準)	R3(実績)	R4(実績)	R5(実績)	R6(実績)	R7(実績)	R7(目標)	R12(目標)
汚水処理人口普及率			%	59.9	60.8					62.1	81.5
下水道人口普及率			%	7.4	7.2					7.0	34.5
自己評価	目標達成に非常に効果的であった	汚水処理人口普及率は、目標達成に向け順調に伸びている。単独処理浄化槽や汲取便槽から合併浄化槽等への切り替えにより生活排水の直接放流を減らし、河川等の水質保全につなげることができた。									
外部評価											

# 基本目標4 夢あふれ希望に満ちたまち

## ②学校教育

### (1) 安全・安心な学校づくりの推進

所管 学校教育課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	-
--------	---	-------------------	---

施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての児童生徒が、安心して楽しい学校生活が送れるよう、いのちを守る防災教育を推進します。</li> <li>いじめ等の未然防止の取組を推進します。</li> <li>不登校の未然防止、教育相談の充実等による学校支援体制を一層充実します。</li> </ul>
-------	---

主な事業	○いじめ未然防止教育推進事業【重】
------	-------------------

年度別実施計画	R3年度（実績）	事業費(千円)	R4年度（計画）	事業費(千円)	R5年度（計画）	事業費(千円)
	●命を守る訓練の実施	0	●命を守る訓練	0	●命を守る訓練	0
●学級集団アンケートの実施	3,703	●学級集団アンケートの実施	3,854	●学級集団アンケートの実施	【調】	
●特別支援教育コーディネーターや教育相談担当者研修	0	●特別支援教育コーディネーターや教育相談担当者の研修	0	●特別支援教育コーディネーターや教育相談担当者の研修	【調】	
●適応指導教室の運営	4,825	●適応指導教室の運営	6,040	●適応指導教室の運営	【調】	

目標指標	単位	R2(基準)	R3(実績)	R4(実績)	R5(実績)	R6(実績)	R7(実績)	R7(目標)	R12(目標)
各学校で心のアンケート及び子ども全員との教育相談を年間3回以上実施する。	%	-	100					毎年100	毎年100

自己評価	<p>目標達成に効果があった</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学校において、近年の自然災害を踏まえて目的に応じた命を守る訓練を3回以上実施した。そのことにより、避難方法や避難時の留意点を具体的に学ぶことができた。</li> <li>学級集団アンケートを年2回実施した。結果を分析し、個や学級への指導に生かした。</li> <li>教育相談担当者会を年に3回行い、一回は外部講師を依頼して、専門知識の向上を図り、日々の教育相談に生かすことができた。</li> <li>適応指導教室と学校との連携を密に行い、指導の在り方について共有しながら対応できた。</li> <li>年間に特別支援教育担当者研修を3回、通級指導教室担当者会を2回実施した。特別に支援を要する児童生徒への適切な支援の在り方について識見を深め、実践に生かすことができた。</li> </ul>
------	--

外部評価	
------	--

# 基本目標3 心が通う助け合いのまち

## ⑦医療・健康

### (2) 健(検)診体制の充実と医療費適正化の推進

所管 健康推進課・医療保険課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標3-(4)健康意識の高揚

施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い年齢からの健康診査を実施し、生活習慣病を予防する生活改善を支援します。</li> <li>がんを早期に発見し、早期に治療を開始できる体制を整備します。</li> </ul>
-------	---

主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若年層健康診査の実施【重】【創】</li> <li>○特定健康診査、特定歯科健診、人間ドック助成事業、すこやか健診の実施、脳ドック助成事業【創】</li> <li>○がん検診事業</li> </ul>
------	--

年度別実施計画	R3年度(実績)	事業費(千円)	R4年度(計画)	事業費(千円)	R5年度(計画)	事業費(千円)
	●goodライフ健診(若年層健康診査)の継続	5382	●goodライフ健診(若年層健康診査)の継続	6488	●goodライフ健診(若年層健康診査)の継続	【調】
●goodライフ健康セミナーと病態別セミナーの開催(生活習慣病予防の支援事業)	2	●goodライフ健康セミナーと病態別セミナーの開催(生活習慣病予防の支援事業)	55	●goodライフ健康セミナーと病態別セミナーの開催(生活習慣病予防の支援事業)	【調】	
●がん集団検診ウェブ予約の継続	847	●がん集団検診ウェブ予約の継続	1017	●がん集団検診ウェブ予約の継続	【調】	

目標指標	単位	R2(基準)	R3(実績)	R4(実績)	R5(実績)	R6(実績)	R7(実績)	R7(目標)	R12(目標)
若年層健康診査受診者数	人	768	718					800	1,000
特定健康診査受診率	%	47.0	46.0					60	60

自己評価	<p>目標達成に非常に効果的であった</p> <p>健康診査を受ける機会がない若い世代のためのgoodライフ健診を実施し、R2年度と比較して健診の継続受診率が20歳代、30歳代ともに上昇している。今後は特に20代の女性に対して健診の必要性の周知を強化し、20歳からの健診継続受診の必要性と自身で自己管理できる若者育成を行っていく。</p>
------	---

外部評価	
------	--

# 地域再生計画

# 瑞穂市まち・ひと・しごと創生推進計画

瑞穂市まち・ひと・しごと創生推進計画

所管 総合政策課 健康推進課

重点施策該当		○		まち・ひと・しごと創生総合戦略該当								
施策の内容	<p>「若い世代が結婚や出産に希望をもち、子育てを楽しめるまちをつくる」、「市内外に十分な雇用の場があり誰もがいきがいを感じて働くことができるまちをつくる」、「まちに誇りや愛着を感じながらいつまでも安心して暮らせるまちをつくる」、「瑞穂市の魅力で更なる「交流・にぎわい」を生み出す」こと等を通じて、安定した住民の「暮らし」を守り、活力があり自立したまちを維持していきます。</p>											
	<p>主な事業                  ア 次代を担う「ひと」を育む事業                  イ 特性を活かした「しごと」をつくる事業                  ウ 安心して住み続けられる「まち」をつくる事業                  エ 魅力で「交流・にぎわい」を生み出す事業</p>						<p>企業版ふるさと納税</p>					
年度別実施計画	R3年度（実績）		事業費(千円)	R4年度（計画）			事業費(千円)	R5年度（計画）			事業費(千円)	
	ウ 安心して住み続けられる「まち」をつくる事業 事業名：乳幼児インフルエンザ予防接種委託事業		100	ア～エの事業			【調】	ア～エの事業			【調】	
目標指標				単位	R2(基準)	R3(実績)	R4(実績)	R5(実績)	R6(実績)	R7(実績)	R7(目標)	R12(目標)
住みやすさの評価・居留意向				%	67.7	77.7					75.0	
自己評価	目標達成に非常に効果的であった		<p>生後6か月～小学2年生までを対象に「乳幼児インフルエンザ予防接種事業」を実施した。接種1回あたり1,000円助成（2回まで）。当該事業により、延べ3,346件の接種が実施され、地域医療体制の充実が図られた。結果として、県下で平均年齢が最も低い当市において、子育て世代より評価され、指標である「住みやすさの評価・居留意向」が順調に推移したと考えられる。</p>									
外部評価												

# 総合戦略事業

一圏域応援ステーションー 穂積駅圏域拠点化構想推進事業

所管 総合政策課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標2-(2) 商工業の活性化

**施策の内容**

・多くの方が行き交う瑞穂市の玄関口であるJR穂積駅周辺の活性化を行うため、多様な主体により練り上げられた穂積駅圏域拠点化構想の将来ビジョン” みんなの「心」をつ・つ・む場所 ほづみのエキチカ ～圏域のプラットフォームとして ヒト・モノ・コトを つなぐ・つむぐ・むすぶ～」を実現するため、平成31年度までの期間目標を「地域・圏域への認知」と定め、平成29年度を「地域認知の向上と変化のはじまり」と設定、穂積駅の拠点としての認知向上と意識啓発、取組の見える化につながる初動的取り組みを重点的に実施する。

**主な事業**

- JR穂積駅圏域拠点化構想促進事業
- 駅周辺市民協働活性化事業
- JR穂積駅圏域拠点化PR事業

H29全体事業費23,728千円  
うち交付金対象事業費20,736千円  
うち交付金10,000千円

年度別実施計画	R3年度（実績）		R4年度（計画）		R5年度（計画）	
	事業費(千円)		事業費(千円)		事業費(千円)	
●穂積駅圏域拠点化構想推進事業	21,120	JR穂積駅圏域拠点化構想事業推進事業	14,526	JR穂積駅圏域拠点化構想推進事業	【調】	

目標指標	単位	R2(基準)	R3(実績)	R4(実績)	R5(実績)	R6(実績)	R7(実績)	R7(目標)	R12(目標)
穂積駅乗降客数	人	18,686	15,054						
就業人口・労働力人口	人	26,730	27,347						
新規出店数	件	6	2						

**自己評価**

目標達成に非常に効果的であった

JR穂積駅周辺まちづくり組織ExSite（エキサイト）が設立され、地域目線でJR穂積駅圏域経典化構想の実現を後押ししていく体制が整った。（地域がにぎわいづくりを行い、自分たちで駅周辺を盛り上げていく体制が整った。）エキサイトは弁当市の開催やイルミネーション点灯式を通して、駅周辺の魅力のみならず瑞穂市の魅力向上に寄与する活動を年間の通じて実施した。また、組織体制の整備や活動の深化を目指して、エキサイト会議や推進会議（役員会議）を行い、組織内の意見交換を活発的に行うことで、将来に向けて、自立的に活動していかねければならないという意識が芽生えた。今後は組織体制の強化を図りつつ、地域貢献活動やさらなる賑やかし活動を通して、実績やノウハウを蓄積し、社会や地域に認知され、また必要とされる組織を目指す。

**外部評価**

# 基本目標5 活気あふれる元気なまち

## ①農業

(1) 特色ある「瑞穂農業」の促進

所管 商工農政観光課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	-						
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>「富有柿発祥の地」の積極的なPRや新商品開発・ブランド化を図ります。</li> <li>学校給食における地元農産物の利用等、地産地消を推進し、食育推進による食料自給率の向上を通じた地域の活性化を促進します。</li> </ul>								
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○PRサイトの構築事業【重】</li> <li>○瑞穂ブランド創出事業【重】</li> <li>○地産地消推進事業</li> </ul>								
年度別実施計画	R3年度（実績）	事業費(千円)	R4年度（計画）	事業費(千円)	R5年度（計画）	事業費(千円)			
	●学校給食地産地消推進事業補助	1,170	●学校給食地産地消推進事業補助	1,400	●学校給食地産地消推進事業補助	1,400			
	●ぎふベジ広域連携事業	5	●ぎふベジ広域連携事業	6	●ぎふベジ広域連携事業	6			
	●ぎふ〜ど認定事業	15	●ぎふ〜ど認定事業	5	●ぎふ〜ど認定事業	5			
	●特産品等のPR事業	176	●特産品等のPR事業	192	●特産品等のPR事業	192			
目標指標	単位	R2(基準)	R3(実績)	R4(実績)	R5(実績)	R6(実績)	R7(実績)	R7(目標)	R12(目標)
新瑞穂ブランド開発数	件	1	2					現状値から+1	5年後から+1
自己評価	目標達成に効果があった	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食において、地元農産物を積極的に利用してもらい、次世代の市の農業を担う小中学生に対し地産地消を推進した。</li> <li>ぎふ地産地消の店認定制度「ぎふ〜ど」について、新たに1店舗認定を行い、ブランドの創出が出来た。</li> </ul>							
外部評価									

【共通目標】 持続可能な都市経営のまち

①行政運営

(2) 行政評価の充実と推進

所管 財務情報課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	-
--------	---	-------------------	---

施策の内容	・ ニーズに即した行政サービスを継続的に提供するために導入した行政評価制度を弾力的に運用することで、業務の改善を実施します。			

主な事業	○行政改革推進事業【重】			
------	--------------	--	--	--

年度別実施計画	R3年度（実績）	事業費(千円)	R4年度（計画）	事業費(千円)	R5年度（計画）	事業費(千円)
		●第三次瑞穂市行政改革大綱に基づく行政改革の推進（行政改革推進委員会の開催）	162	●第四次瑞穂市行政改革大綱に基づく行政改革の推進（行政改革推進委員会の開催）	200	●第四次瑞穂市行政改革大綱に基づく行政改革の推進（行政改革推進委員会の開催）

目標指標	単位	R2(基準)	R3(実績)	R4(実績)	R5(実績)	R6(実績)	R7(実績)	R7(目標)	R12(目標)
【参考指標】 経常収支比率	%	83.5	76.9					80.0	80.0
-	-	-	-					-	-

自己評価	目標達成に効果があった	「第三次瑞穂市行政改革大綱」の計画期間が令和3年度で終了するにあたり、令和4年2月10日、瑞穂市行政改革推進委員会に対して、市長より「第四次瑞穂市行政改革大綱（案）」の策定について諮問された。これを受けて、計3回開催した委員会における審議を経て令和4年5月24日、市長に対して答申を行った。この答申内容を踏まえた「第四次瑞穂市行政改革大綱（案）」の策定に係る議案が令和4年6月議会定例会において可決された。
------	-------------	---

外部評価		
------	--	--



【共通目標】 持続可能な都市経営のまち

② 財政運営

(2) 適正な受益者負担と公有財産の管理

所管 財務情報課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	-
--------	---	-------------------	---

施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>公平性や受益者負担に基づき、費用負担の適正化に努めます。</li> <li>公平性や受益者負担に基づく費用負担を適正に実施します。また、未利用地や活用見込みがない土地や建物等を処分、貸付ける等、公有財産の有効活用を推進します。</li> </ul>
	○費用負担適正化推進【重】

主な事業	○費用負担適正化推進【重】
------	---------------

年度別実施計画	R3年度（実績）	事業費(千円)	R4年度（計画）	事業費(千円)	R5年度（計画）	事業費(千円)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共施設等総合管理計画と連動した費用負担の適正化、及び公有財産の有効活用の周知</li> <li>●不動産業団体を通じて未利用地売却を推進</li> <li>●施設使用料の改定</li> </ul>	○	1,871	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共施設等総合管理計画と連動した費用負担の適正化、及び公有財産の有効活用の周知</li> <li>●不動産業団体を通じて未利用地売却を推進</li> <li>●施設使用料の改定</li> </ul>	○	504	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共施設等総合管理計画と連動した費用負担の適正化、及び公有財産の有効活用の周知</li> <li>●不動産業団体を通じて未利用地売却を推進</li> <li>●施設使用料の改定</li> </ul>

目標指標	単位	R2(基準)	R3(実績)	R4(実績)	R5(実績)	R6(実績)	R7(実績)	R7(目標)	R12(目標)
未利用地売却の実施有無	-	○	○					○	○

自己評価	目標達成に効果があった	【公有財産の有効活用】穂積字領下分の土地1筆及び用途廃止された法定外公共物3筆を売却できた。
------	-------------	--

外部評価		
------	--	--

【共通目標】 持続可能な都市経営のまち

①行政運営

(3) 組織体制の強化と人材育成

所管 総務課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	-
--------	---	-------------------	---

施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化・高度化する行政需要に対応できる柔軟で機動的な組織体制の再編を進めます。また、分野横断的な課題に対しては組織機構の枠を越えた総合的かつ戦略的な対応ができる組織体制を構築します。</li> <li>・職員資質を向上させるための研修を実施する等、職員の能力を最大限発揮できる環境を整備し、幅広い視野と企画創造力を持った人材を育成します。</li> </ul>			
	○職員育成計画推進事業【重】			

年度別実施計画	R3年度（実績）	事業費(千円)	R4年度（計画）	事業費(千円)	R5年度（計画）	事業費(千円)
---------	----------	---------	----------	---------	----------	---------

年度別実施計画	●職員研修の実施 （市町村研修センターへの受講促進、市町村アカデミー・国際文化アカデミーへの参加、高度な専門知識習得のため自治大学校への派遣等を積極的に実施し、人材育成計画に基づいた研修事業の充実を図る。）	1,875	●職員研修の実施 （市町村研修センターへの受講促進、市町村アカデミー・国際文化アカデミーへの参加、高度な専門知識習得のため自治大学校への派遣等を積極的に実施し、人材育成計画に基づいた研修事業の充実を図る。）	1,820	●職員研修の実施 （市町村研修センターへの受講促進、市町村アカデミー・国際文化アカデミーへの参加、高度な専門知識習得のため自治大学校への派遣等を積極的に実施し、人材育成計画に基づいた研修事業の充実を図る。）	【調】
---------	--	-------	--	-------	--	-----

目標指標	単位	R2(基準)	R3(実績)	R4(実績)	R5(実績)	R6(実績)	R7(実績)	R7(目標)	R12(目標)
------	----	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

【参考指標】 職場外研修（特別研修）の参加人数	人	1,063	2,030					2,000	2,000
-------------------------	---	-------	-------	--	--	--	--	-------	-------

-	-	-	-					-	-
---	---	---	---	--	--	--	--	---	---

自己評価	目標達成に効果があった	第二次瑞穂市人材育成計画を踏まえ、市職員として職務に必要な知識及び高度な専門知識や技能の習得を目的とした職場外研修を引き続き実施した。コロナ禍により、e-ラーニングやWebセミナーなどのネットラーニングを活用し受講を促した。今後も年度毎の研修計画をたて、OFFJTを実施していきたい。							
------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--

外部評価									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 基本目標1 安全で安心して暮らせるまち

## ①治水・防災

### (3) 消防団員の確保

所管 市民協働安全課

重点施策該当		○		まち・ひと・しごと創生総合戦略該当		-						
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>団員の高齢化や減少を踏まえた多様な団員を確保します。</li> </ul>											
	主な事業 ○団員確保対策（PR事業等）の実施【重】 ○関係機関への協力依頼 ○女性・学生消防団員の募集											
年度別実施計画	R3年度（実績）		事業費(千円)	R4年度（計画）			事業費(千円)	R5年度（計画）			事業費(千円)	
	●消防団員入団勧奨PR（イベント出店、啓発）		0	●消防団員入団勧奨PR			176	●消防団員入団勧奨PR			【調】	
目標指標				単位	R2(基準)	R3(実績)	R4(実績)	R5(実績)	R6(実績)	R7(実績)	R7(目標)	R12(目標)
消防団員数				人	246	238					257	257
自己評価				目標達成に効果があった	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による行事の中止等により、広報・啓発活動を実施することができなかったため、市広報紙や市ホームページによる団員募集のみを実施した。今後は、行事の機会を捉えた啓発活動等、多種多様な団員確保対策を実施していきたい。							
外部評価												